



報道関係者様 各位

「令和」を揮毫した書道家の初の個展 『茂住菁邨 書展』を開催

岐阜県飛騨市



市では、令和4年7月2日(土)から8月21日(日)の期間、飛騨市美術館（岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-58）において、企画展『茂住菁邨（せいそん）書展-言靈の響-』を開催します。

茂住菁邨（本名：茂住修身）氏は、飛騨市古川町出身の書家で、大東文化大学在学中より青山杉雨に指示し、現在まで日展の公募展に出品するなど「書道」を追求し続けています。書家として活躍する一方、大学卒業後はその能力を活かして内閣府の辞令専門職の任に就き、総理大臣や国務大臣の認証官等の辞令書揮毫に携わりました。新元号「令和」発表の記者会見では、官房長官の掲げた墨書を茂住氏が揮毫したことは記憶に新しく、氏の書がより一層全国に知れ渡る転換点となりました。

本展覧会では、41年に渡る辞令専門職としての任務を紹介するとともに、茂住氏の書家として足跡を振り返ります。

飛騨市展のみで公開される貴重な品

茂住氏による個展は今回が初めてであり、今年2月に開催されたフランス・パリ展を皮切りに、東京・銀座店、岐阜・高山市展、そして、茂住氏の出身地である岐阜・飛騨市での開催がラストとなります。飛騨市展では、茂住氏が実際に使用する硯や筆などの貴重な品が、同展示会でのみ特別に公開されます。

展示会に併せて、期間中には「令和」揮毫の裏側等を語るギャラリートークや茂住氏による書道パフォーマンスが見られるナイトミュージアムなど、各種イベントも開催されます。



茂住氏直筆の「令和」

■開催概要

開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料／一般 200円、高校生以下無料

※障がい者手帳の交付を受けている方又は20名以上の場合は20%割引

【イベント情報】

日時		事業名	
7/2(土)	10:00 ~ 10:30	開会式	
	10:30 ~ 12:00	オープニングギャラリートーク 書道作品の楽しみ方ほか	
7/17(日)	13:00 ~ 14:30	講演会 「令和」揮毫の裏側、書の楽しみ方	会場:飛騨市文化 交流センター
	9:00~12:00	山中和紙を使用した自分だけの書うち わ作り	参加費:500 円 (要申込)
7/24(日)	14:00 ~ 14:20	ギャラリートーク 漢字の成立ち	
		七夕まつり&ナイトミュージアム	関連イベント(古川町 商工会青年会議所)
8/11(木・祝)	11:00 ~ 11:20	ギャラリートーク 書道作品制作について	
	13:00 ~ 16:00	書×広葉樹の作品作り	参加費:1,000 円 (要申込)

— 本件に関する、一般の方から、及び報道関係からのお問合せ先 —

飛騨市教育委員会事務局 文化振興課 担当者:大上、秋田 TEL 0577-73-7496